

## 外科後期研修プログラム

年限：5年 募集人数：1名 募集形態：公募 専門医名：外科専門医

当院は日本外科学会外科専門医制度修練施設（指定施設）であり、また東京女子医科大学の関連病院である。当院および大学、関連施設での研修と日本外科学会の所定の基準を満たせば、医師免許取得5年以上で専門医受験資格が得られる。その他、その他日本大腸肛門病学会専門医、日本消化器病学会専門医、日本乳癌学会認定医、専門医、日本救急医学会専門医などの取得が可能である。

### プログラム責任者：村瀬茂（部長、外科）

昭和51年金沢大学卒。同年東京女子医科大学第二外科学教室入局、現在堂教室非常勤講師。日本外科学会指導医、同専門医、日本消化器外科学会指導医、同認定医、日本大腸肛門病学会指導医、同専門医、日本乳癌学会認定医、日本救急医学会専門医。

指導医氏名

村瀬茂

林達弘 平成1年信州大学卒

竹尾幸子 平成8年東京女子医科大学卒

中村修 平成8年北里大学卒

### 診療科メンバー

上記に加え、東京女子医科大学より派遣医1～3名、臨床研修医1～2名が研修中である。

### 一般目標

豊かな人間性、幅広い見識、社会に貢献する使命感と責任感を持つ外科医となるために、一般外科に必要な基礎知識、技術を習得し、患者を思いやる暖かな心を身につける。

### 具体的目標

後期研修5年目もしくは5年以内に日本外科学会専門医資格を取得すること。一般外科診療に必要な検査、処置、麻酔、基本的な手術手技に習熟すること、サブスペシャリティーの確立に向け始動すること。コメディカルと協力しチーム医療を実践できること。患者に病状、治療方針についてわかりやすく説明できること。診療録、診断書などを遅滞なく正確に記載できること。

研修期間中最低2回の学会発表、論文執筆を行うこと。

### 方略

当院は救急医療に力を入れており、外科救急疾患の初期診療から回復期診療まで研修することができる。悪性疾患手術も多く認定施設基準を満たしているため、外科系各学会の研修指定、認定施設および関連施設となっており幅広く手術手技の研鑽を積むことができる。臨床検査では腹部および乳腺超音波エコー検査、上部下部内視鏡検査を一年次より外科指導医だけでなく、消化器内科医の指導のもとに実践を積む。当院での一貫した研修も可能であるが、病院により治療法などに偏りがある弊害の可能性も考慮して、東京女子医科大学第二外科およびその関連施設での研修を適宜加え、先進医療を体験し、視野の広い一般外科を目指す。これはサブスペシャリティーの確立にも役立つ。

### 評価

日本外科学会外科専門医修練カリキュラムに沿い、年次毎に指導医が評価を行う。院外研修に際しては、研修先医療機関の指導医が評価に加わる。